

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2023年5月下旬刊行

「日本的なるもの」の思想史

—戦争の時代における個人—

松村寛之 著

A5判・ハードカバー・266ページ 本体価格 5,400円

萩原朔太郎・保田與重郎・古屋芳雄・辻潤・石川三四郎。

5つの知性の航跡ひとつひとつが求め、交錯していく「日本」をめぐる思索。

【目次】

はじめに

第一章 イデーとしての日本—萩原朔太郎—

第二章 イロニーと日本—保田與重郎—

第三章 科学と「日本精神」—古屋芳雄—

第四章 ニヒリズムと「日本主義」—辻潤—

第五章 「愛国心」とは何か—石川三四郎—

おわりに

〈著者紹介〉、松村寛之（まつむら ひろゆき）：大阪公立大学非常勤講師、日本近代史専攻。

～版元から～ 日本とは何か。かつて、この命題を身もたえしながら思索した人たちがいました。「日本的などというものは虚妄だ」という言説に、詩人・萩原は、自分にとって「日本的なるもの」があることは、その「自我」の存在と同じほどに「確信できる事実」と反論しました。この困難な命題は、一部のポストモダン的な思考や国民国家批判論のように「日本とは、国家イデオロギーが生み出した幻想にすぎない」と切り捨てて済ませることはできないのです。萩原をふくめ、文学者・科学者・アナキストなど5人の知性が求めた「日本的なるもの」というものを読みとき、思想史の新しい地平を拓いていきます。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	「日本的なるもの」の思想史 —戦争の時代における個人— 松村寛之 著	日本史（近代）
	ご担当	A5判・ハードカバー、266ページ 本体価格 5,400円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-64-4 C3021	

ご注文は (株) JRC へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230